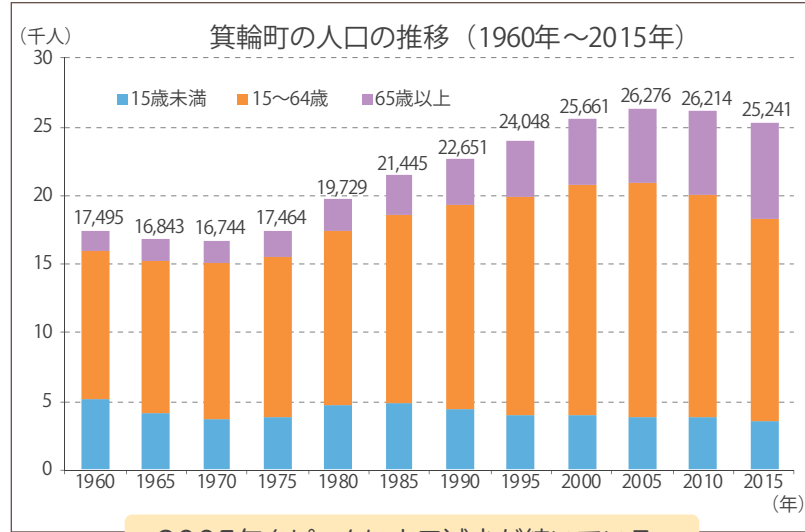
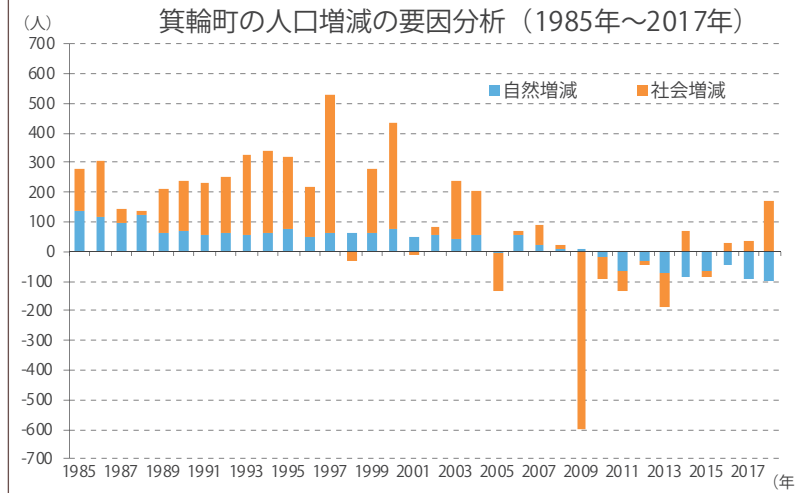


箕輪町人口ビジョン 概要版

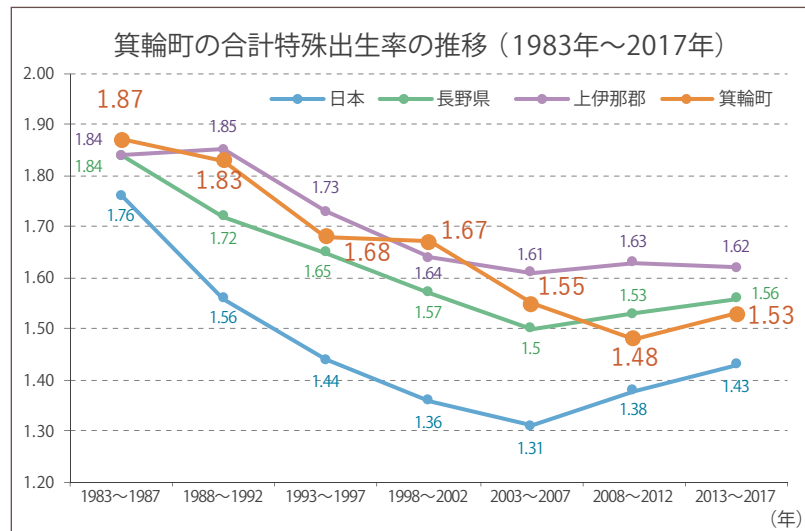
人口現状の分析



2005年をピークに人口減少が続いている。



2010年以降は自然減が続いている。社会減が続いていたが、2016年からは社会増に転じている。



箕輪町の出産年齢人口と出生数の推移

	15～29歳		30～39歳		40～49歳	
	女性人口 (人)	出生数 (人)	女性人口 (人)	出生数 (人)	女性人口 (人)	出生数 (人)
1998年～2002年 (a)	2,490.0	129.8	1,604.4	112.0	1,616.6	3.2
2003年～2007年 (b)	2,247.4	105.0	1,880.2	132.0	1,489.8	4.2
2008年～2012年 (c)	1,851.4	74.6	1,828.2	132.4	1,567.6	8.8
2013年～2017年 (d)	1,568.8	67.6	1,491.8	116.8	1,739.6	10.2
【参考値】2018年 (e)	1,495.0	70.0	1,329.0	111	1,820.0	14.0
c-b増減率 (%)	△ 17.6	△ 29.0	△ 2.8	0.3	5.2	109.5
d-c増減率 (%)	△ 15.3	△ 9.4	△ 18.4	△ 11.8	11.0	15.9

2015年以降、町の出生率は上昇傾向。ただし、女性人口が減少しているため、出生数は減少が続いている。

人口増減の課題

人口増加・維持の主な要因

- 合計特殊出生率の上昇
1.38 (2014年) → 1.70 (2018年)
- 社会増 (主に郡内・県内の転入超過)
+212人 (2016-2019年の4ヵ年計)
- 外国人住民の増
621人 (2014年) → 773人 (2018年)

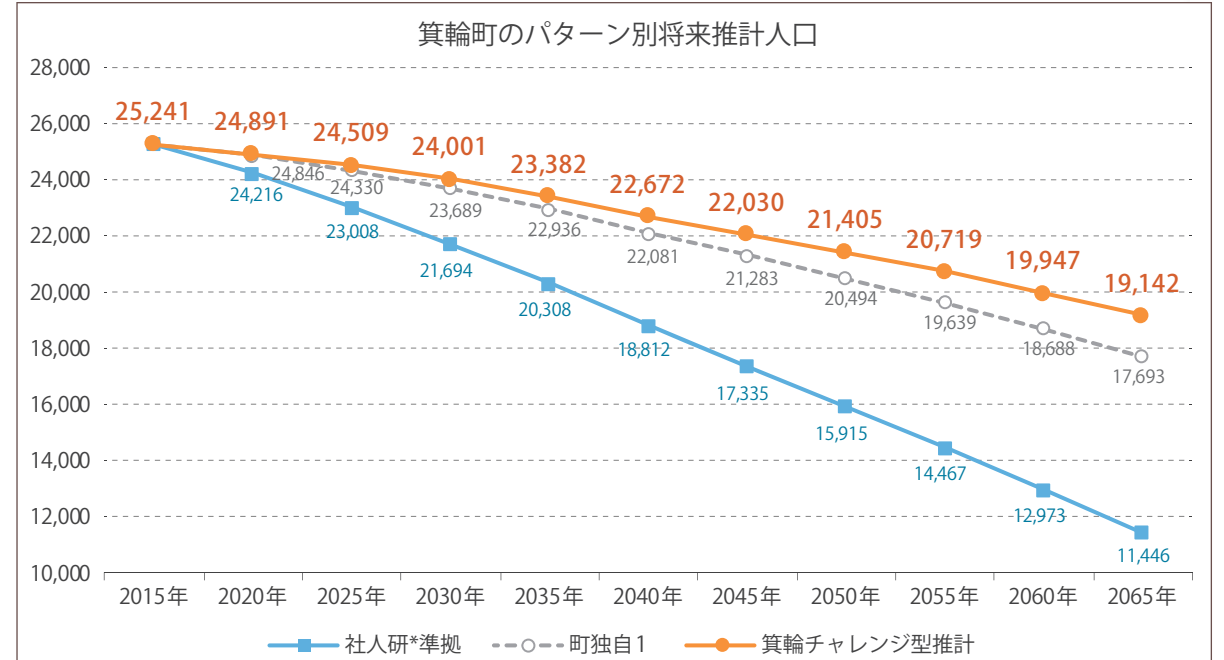
人口減少の主な要因

- 女性生産年齢人口の減少
▲357人 [7,232人 (2014年) → 6,875人 (2019年)]
- 死亡数の増加
194人 (2014年) → 292人 (2018年)
- 自然減 (主に死亡数の増加)
▲311人 (2016-2019年の4ヵ年計)

課題

- ◇ 今後増大すると予測される自然減に対応するために、女性人口や子育て世代の増加策が必要
- ◇ 定住地として選ばれる魅力あるまちづくりを続ける必要
- ◇ 経済動向により、社会増減に大きな変動があった場合にも対応できるような社会基盤づくりが必要

将来人口推計



*社人研：国立社会保障・人口問題研究所

施策 (箕輪チャレンジ) により、人口減少を緩やかなものにするのが期待できる。

目標1 2025年には合計特殊出生率を1.80へ

	2015年	2020年	2025年
合計特殊出生率	1.53	1.65	1.80
年間出生数*	196人	180人	170人
15～49歳女性人口	4,750人	4,580人	4,245人

*2020年と2025年の出生数については、2015年～2018年の出生数の平均値を用い、2015年の15～49歳の女性人口と年間出生数の割合から算出した仮定値である。
2025年の合計特殊出生率は、国が掲げる「希望出生率」

目標2 移住定住対策により1年で50人、10年で500人増加

	実績値※			箕輪チャレンジ型推計
	2017年	2018年	2019年※	
Uターン施策 (県外)	8人	14人	6人	14人/年 若年者：4人 子育て世帯：2世帯8人 退職後夫婦：1世帯2人
Iターン施策 (県外)				9人/年 子育て世帯：2世帯7人 その他：1世帯2人
空き家施策 (県外)				2人/年 1世帯2人
定住施策 (郡内・県内)	52人	81人	57人	25人/年
計	60人	95人	63人	50人/年

※実績値は、みのわの魅力発信室で関与した人数
※2019年度は2020年1月末日現在 (10ヵ月間)

みんなで創る、未来につながる、暮らしやすい箕輪町
～人口減少時代への挑戦・箕輪チャレンジ～

箕輪町 まち・ひと・しごと 総合戦略（2020年度～2024年度）概要版

総合戦略の狙い

I. 人口減少時代に対応した魅力あるまちづくり

- 2040年に22,600人程度の人口を確保
- 町の魅力発信による転入者・関係人口の増加
- 出生率の上昇等による出生数の増加
- 多様な人材の活躍

II. 産業の発展

- 2040年まで工業製造品出荷額の郡内2位維持
- 工業を中心に商業、農林業等多様な産業の振興

基本目標① <未来を創る>

働く場所に恵まれ安心して働けるまちを持続

工業製造品出荷額郡内2位の工業を中心に商業、農林業等の多様な産業振興により働く場所を確保するとともに、稼ぐ地域をつくる。

数値目標

昼夜間人口比率
0.97(2015年)→**1.0以上**(2025年)

15～39歳の県外間社会増減数
△46人(2018年)→**転入超過**(2024年)

主な施策

- ◇産業の振興
・就農支援・人材育成、企業育成等
- ◇新分野の開拓支援
・商談会等出展
- ◇働く場所の確保
・経営相談等



KPI（重要業績評価指標）

- ◇新規就農者数
累計8人(2014年～2018年)→累計20人(2024年)
- ◇農産物直売所売上額
5,300万円(2018年)→20,000万円(2024年)
- ◇関係人口創出拡大事業参加者数
1,220人(2018年)→毎年100人ずつ増加(2020年～)
- ◇製造品出荷額
郡内第2位(2018年)→郡内第2位(2020年～)
- ◇町内進出企業 年1社以上(2020年～)
- ◇事業承継事業所数 年1件(2020年～)
- ◇農産物直売所利用者数
42,355人(2018年)→170,000人(2024年)

基本目標② <未来に集う>

関係人口の創出拡大、移住・定住の促進

町に愛着を持つ人材の育成や関係人口創出施策の推進により、UIJターン者等移住定住者の増加と新しいひとの流れの増加を目指す。

数値目標

関係人口を毎年100人増加
1,220人/年(2018年)→**1,820人**(2024年)

主な施策

- ◇地域に愛着を持つ人材の育成
・地域愛着の醸成
・特色ある教育
- ◇関係人口の創出拡大・移住定住の推進
・移住定住対策
・県内外へ情報発信
- ◇若者・女性に魅力あるまちづくり
・若者意見の反映

KPI（重要業績評価指標）

- ◇みのわファンクラブ会員数
100人(2018年)→毎年100人ずつ増加(2020年～)
- ◇関係人口創出拡大事業参加者数
1,220人(2018年)→毎年100人ずつ増加(2020年～)
- ◇関係人口創出拡大に向けて実施する事業実施回数
0回(2018年)→前年比5回増(2021年～)
- ◇県外UIJターン転入者数
14人/年(2018年)→21人/年(2020年～)



基本目標③ <未来を育む>

出産・子育て施策の推進

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、子育て環境の整備や施策の充実を図る。

数値目標

合計特殊出生率
1.68(2016年)→**1.80**(2024年)

生産年齢人口に対する年少人口の割合
22.8%(2018年)→**21.6%以上**(2024年)

主な施策

- ◇交流の場の創出、婚活支援
・サークル活動の創出
・婚活サポート
- ◇出産子育てへの支援
・子育て相談機能の充実
・子育て環境の整備



KPI（重要業績評価指標）

- ◇年間結婚成立件数
1件(2018年)→2件(2020年～)
- ◇こども相談室利用者数
年延べ452人(2018年)→500人(2020年～)
- ◇子育て支援センター利用者数
20,298人(2018年)→年20,000人以上(2020年～)
- ◇保育園待機児童数
0人(2018年)→0人(2020年～)



基本目標④ <未来に生きる>

町の暮らしやすさを未来へ

徹底した安全・安心など、人口が減少しても未来につながる魅力ある暮らしやすいまちづくりを進める。

数値目標

町・住民満足度調査による「町での生活に満足」
71.9%(2018年)→**70%以上**(2020年以降)

主な施策

- ◇徹底した安全・安心の推進
・町の安全・安心力を強化
・安全で利便性の高い社会基盤の整備
- ◇コミュニティの維持
・集落等コミュニティ活動の確保
- ◇健やかに暮らせる町の推進
・健康づくりの推進
・高齢者等、交通弱者への支援
- ◇未来につながる暮らしやすさ
・新しい時代の流れの導入
・地域間連携



KPI（重要業績評価指標）

- ◇町民の安全安心感(SCアンケート調査)
73.2%(2017年)→80%以上(2020年～)
- ◇歩道安全実施延長
13,329m(2018年)→16,300m(2024年)
- ◇区(自治会)への加入率
68.4%(2018年)→70.0%(2024年)
- ◇健康ポイント参加者数
937人(2018年)→年100人増(2020年～)

横断目標① <多様な人材の活躍を推進する>

横断目標② <新しい時代の流れを力にする>